

第5回 和歌山県洋上風力発電に係るゾーニング検討会

○日時

令和2年7月10日（金） 15:00～17:00

○場所

和歌山県書道資料館 2階 大ホール

○議事

(1) 令和2年度のゾーニングの実施計画及び検討の進め方について

【鳥類調査について】

委員

- 調査結果から洋上風力発電が一切できないという扱いなのかの関連性が良く分からない。「検討すべき場所」と「様々な環境から洋上風力発電を積極的に取り入れてよい場所」が分かりやすくなっていればよい。

委員

- 必ずしも珍しい鳥だから保護する、珍しくないから保護しないではなく、今までの成果を踏まえて評価していただきたい。

委員

- 調査結果の内容から、洋上風力発電実現との関連には何に注意をすればよいのかというまとめの考え方の案を提示して欲しい。それについて委員がコメントをする形が望ましい。

県

- 今後、夏、秋のデータをとっていく。まとめ方は一案という形で作成した上で、ご相談させていただきたい。

【ヒアリングの実施について】

委員

- 漁業協同組合は洋上風力を造るときのステークホルダーとして重要なので、丁寧に情報交換、ヒアリングをしていただきたい。
- 和歌山県では、地域の地先の漁業協同組合と全体を管轄する漁業協同組合のように地域ごとの別組織があるため見落としなく行うこと。

県

- 漁業ヒアリングは丁寧にしていきたい。特に自由漁業のエリアについては、どういう公表の形にするのかということはこちらで検討し、ご相談したいと考えている。

委員

- 自衛隊関係は非常にナイーブな問題が多いため、早目に丁寧にヒアリングを行うこと。

委員

- 漁業協同組合での聞き取りも必要だが、漁業実態について一番よく知っているのは漁師さんであるため、難しいかもしれないが有力な漁師さんにも話を聞く必要がある。

県

- 漁業協同組合でのヒアリング時に組合職員から、この調書を埋めるためには個人単位で聞く必要があるという話は伺っている。一人一人全員ヒアリングするのは難しいため、できるだけ皆さんの話をひろえるような形で時間をかけて丁寧に話を聞いていく。

委員

- 資料もなにもない状態で意見を述べろといわれてもなかなか難しいと思う。他の風力発電で漁業や資源に影響があった例をまとめた説明を含めてヒアリングする方が答える側は答えやすいと考える。

委員

- 過去の事例収集は、風車の名前と地域とか環境影響調査で検索すれば公表されているものはかなりの部分はピックアップできる。

県

- 風車がどういうものをイメージしているかというリファレンスモデルみたいなものも必要かと思しますので、整理して、先生方にそれぞれご相談させていただいたうえで、ヒアリングを引き続き進めていきたい。

委員

- 客観的事実を集めるという意味では似たような評価方法で観光関係もヒアリングするとよい。こういう形でのデータ収集が大事であるためヒアリング方法を検討して欲しい。

県

- 今後、委員の指導をいただきながら、ヒアリングの内容、方法を検討していく。

【スケジュールの説明】

委員

- スケジュールをみると今後2回の検討会で結果をまとめることができるか非常に心配である。

県

- まとめ方については、事前に時間がある範囲でご専門毎に個別に相談させていただきたい。

(2) その他のご意見

委員

- 中間とりまとめ（昨年のとりまとめ）資料中に文章の流れ等でやや誤解を与えかねない部分がある。内容については別途事務局に連絡する。

座長

- 中間とりまとめであるため、修正が出ても問題はない。委員の方々は目通しいただいて、指摘事項はできれば、7月中くらいに改めて委員から事務局へメールで連絡を入れてください。

委員

- 前回議事録要旨を冒頭に配っていただきたい。議論の継続性及び新規委員への予備知識として必要である。
- できるだけ開催後早い時期に配布資料も含めて県のホームページ等に公開されるよう努力していただきたい。

県

- 資料はもちろんホームページで公開させていただきたい。議事録についても確認をさせていただいた上で、また次回配布をさせていただきます。